



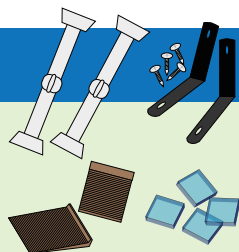
# 家具転倒防止等器具の

## 購入費用等を補助します！

南海トラフ地震は、いつ発生してもおかしくありません。過去の震災では、家具の倒壊や転倒が原因で負傷するケースや、最悪の場合死亡するケースが報告されています。善通寺市では、家具転倒防止等対策として家具転倒防止等器具の購入費用等を補助しています。災害から命を守る備えをしておきましょう！ ※令和8年4月より感震ブレーカーが補助対象になりました

### 1 制度概要

家具転倒防止等器具を購入して設置した世帯に補助金を交付します



※補助金の交付は1世帯につき1回限り

### 2 対象者

善通寺市の住民基本台帳に記載されている方（世帯主）で市税の滞納のない方



### 3 対象経費

ご自宅（善通寺市内に建築されている住宅）に設置する家具転倒防止等器具の購入費用及び設置費用

※設置費用については高齢者（65歳以上）のみの世帯など要件あり

### 4 補助額

【購入費用補助額】

補助対象経費の3分の2に相当する額

（100円未満の端数を切り捨てた額）

※1世帯あたりの補助上限は10,000円

【設置費用補助額】

1世帯につき上限3,000円

### 5 申請方法

●右記の申請フォームもしくは下記の書類を提出または郵送してください



申請フォーム

- ①補助金交付申請書
- ②同意書
- ③口座振替依頼書
- ④通帳またはキャッシュカードの写し
- ⑤領収書やレシート等
- ⑥購入器具の設置状況がわかる写真



様式  
ダウンロード

### 6 留意事項

※申請者は世帯主です。

※振込先は世帯主名義の口座になります。

※品名・規格・数量等の内訳が確認できるもの（レシート等）を提出してください。

※購入したすべての器具が写るように撮影してください。

※既存の家具類に対し地震対策を施す商品が対象となるため、転倒防止機能を有する“家具類”は対象外です。

●提出場所：自治防災課

〒765-8503

善通寺市文京町二丁目1番1号 市庁舎3階

### 申請の流れ

器具の購入

器具の取付

補助金の申請

補助金の振込

※申請が予算額に達した時点で、受付を終了する場合があります。

【お問い合わせ先】 善通寺市自治防災課 TEL：0877-63-6338

# 転倒・落下防止等チェックリスト

優先的に確認しましょう!

寝室  子供部屋  リビング  台所

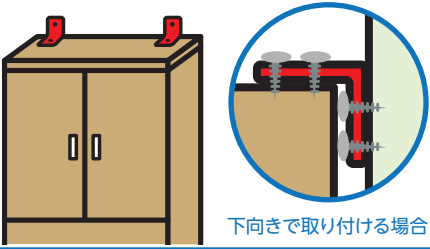
チェック項目	ポイント
<input type="checkbox"/> 家具の置場を検討	・「寝る場所」や「座る場所」の近くには、なるべく家具を置かないようにしましょう。 ・避難経路がふさがれないようにするため、廊下・玄関・扉の前には家具を置かないようにしましょう。
<input type="checkbox"/> 家具の向きに注意	・ベッドなどに向かって倒れてこないよう、家具の向きを見直しましょう。
<input type="checkbox"/> 家具の重心を下げる	・家具の上部に重い物を入れていると倒れやすくなります。 重い物は下部に、軽い物は上部に置き換えましょう。
<input type="checkbox"/> 家具の固定	・家具の固定には、様々な固定方法・固定器具があります。 下の「主な転倒・落下防止器具」を参考に、固定方法を検討しましょう。
<input type="checkbox"/> ガラスの飛散防止	・ガラスの扉が付いている家具は、地震の際にガラスが割れ、中身が飛び出したり、割れたガラスで怪我をする可能性があります。 窓ガラスも含め、飛散防止フィルムを貼るなどの対策をしましょう。
<input type="checkbox"/> 感震ブレーカーの設置	・地震の揺れは建物の配線や家電を損傷させ、ショートや漏電を引き起こす可能性があります。 これらの電気的トラブルは地震後の火災の原因となるため、感震ブレーカーを設置しましょう。

## 主な転倒・落下防止器具

**1** 壁や柱に直接固定  
(ネジ止め)するタイプ

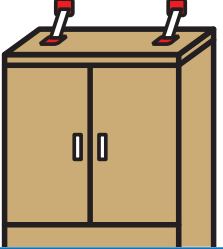
**Point** 壁の中の柱・間柱・胴縁や、家具天板の芯材等、ネジのしっかり止まる場所を確認してから固定をしましょう。

**L字金具**  
家具と壁をネジやボルトで触接固定する器具。下向きで取り付けできれば効果が高まります。



下向きで取り付ける場合

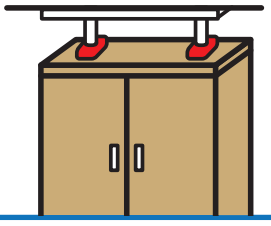
**ベルト・ワイヤー式器具**  
冷蔵庫など壁との間に隙間がある場合や壁側の固定先までの間隔が広い場合に有効です。



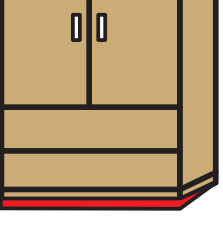
**2** ネジ止めをしないタイプ

**Point** 「ポール式」+「ストッパー式」など、組み合わせることで効果が高まります。

**ポール式器具**  
家具と天井の間に突っ張る形で設置する器具。天井に強度が必要であるほか、天井との間隔が広いと効果が期待できないので注意しましょう。



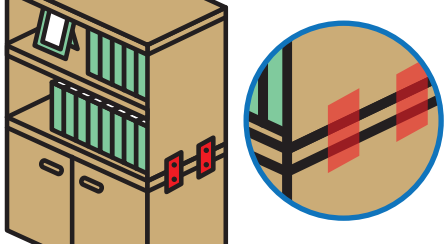
**ストッパー式器具**  
家具の下に挟み込み、壁面に傾斜させる器具。家具の背が高いと効果が低くなるので、他の固定方法と併用しましょう。



**3** 家具・収納物の落下を防止する器具

**Point** ①や②にプラスして実施。様々な器具があるので、家具や状況に合ったものを選択しましょう。

**連結金具**  
上下の家具同士を連結し、転倒防止する器具。ネジ止めタイプのほか、シートタイプもあります。



**扉開放防止器具**  
扉の開放を防ぎ、収容物の落下を防止する器具。様々な形状の物があるので、扉の使用頻度などを考慮して器具を選びましょう。

